

---

# 星空を見せたい

さつん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

星空を見せたい

### 【EZコード】

N4426Y

### 【作者名】

さつつん

### 【あらすじ】

主人公三郷研一は自分で立ち上げた掲示板「ネットワールド」に書き込みをしてくれる人を待っていた。

そしてついに書き込みしてくれたが…

## 限定事項

午前一時三十二分。

いつも通りパソコンの電源を入れる。

真っ暗だった部屋に小さく明かりが灯る。  
ネットワークに繋ぎ、いつもの掲示板へ。

そう、僕が立ち上げた掲示板「ネットワールド」。  
どうにも中一臭い名前は中一頃に立ち上げたからである。

それから一年。

まったく書き込みが無いまま高校生となってしまった。

書き込みが無いと分かっていても、もしかしたら書き込みがあるんじゃないかと期待してパソコンを開いてしまう。

何故午前一時三十二分なのか。

それは僕が立ち上げた掲示板は一時三十二分から四時までしか開いていないから。

そんな感じで限定した方が僕はカッコイイと思ったからだ。

そして当時中一だった僕はもっと限定事項を追加してしまった。

それは、とある質問。

【喜怒哀楽を示す暗号を4つ書き込め】

これが解けた人にだけ掲示板に書きめる。

と言つても、僕自身も答えはわからない。

おふざけで書いた限定事項のおかげでずっと書き込みが無い。

もちろん、限定事項を解除しようと思った。

しかし何故だか解除できないようになっていた。

ついには僕の掲示板の質問を解く掲示板が出てしまった。

そっちの掲示板の方がおおにぎわいだ。

そこで得た工セ情報を元に質問を解こうと質問に挑むが、僕の悪い

癖。

なつとくがいないとハズレと送ってしまう。

負けず嫌いなのだ。

これに負けず嫌いも何も無いが、やっぱりなつとくがいないとハズレと送る。

そして後で後悔する。

もう、封鎖しようか。

まだ希望を持つて待つか。

ピロン

また挑みに来た。

「Hello管理人様(^\_^)

私はえーると申します。 さつそくですが、質問に お答えします(、 、 )」

【えーると】と言ひ名の挑戦者。

質問の回答欄を見る。

今思えば、この時なつとくしないで、負けず嫌いのままでいれば良かった。

## 哲学的な答え

【えーる】の出した答えは、

「喜怒哀楽ですよね？」

私的、これつて相対性理論の事だと思つたのですー。」

なんのこいつや。

まず、相対性理論はアインシュタインがどうたらどうたらと説明されたが、僕には理解不能だつた。

段々、悪戯なのではないかと思つてきた。

しかし、【えーる】の言つていることが少し理解できる氣もした。

理論の話しさ別として。

つい、承認してしまつた。

ついに、話し相手ができた。

嬉しい半分、悔しさが何故があつた。

承認して数秒、すぐに【えーる】の書き込みが来た。

「承認ありがとうございま す( 、 、 )

私的な相対性理論の気持 ちを分かってくれてあり がとうござ  
いますー。」

わざわざ返事を書き込んだ。

「どういたしまして。

しかし、僕には相対性理論は難しいです。  
すいません( ^\_\_^ ; )】

する」とまたすぐに書き込みが入った。

「 わいですか…

やつと語れる相手が見つ かつたと思つたのですが 、残念です  
( 、 ; ; )

でもこの難問を解けたの で良しとします ( ^O^ ) ]

かつてにガッカリされて少しイラつと来たが、最初の一人。  
仲良くなようと思つ。

までは無難な質問をしてみた。

「 えーるさんは好きななに かつてあるんですか？」

すると

「 わいですね~ ( > ^ < )  
特に好きなのは無いです ね ( 、 、 ッ )」

と返ってきた。

このままだと会話が続かないと悟つた。  
何か、手立ては無いか、そう考えてみると【 えーる 】 から質問して  
きた。

「 管理人様はいくつ何ですか？」

私は中学三年生です ( ^O^ ) ]

と書つ事で返事を書き込んだ。

「 僕は、高校一年生です。 一歳年上ですか ( ^O^ ) ]

優しいお兄さん気取つて返事したが、予想もしない返事が返つてき  
た。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4426y/>

---

星空を見せたい

2011年11月17日17時40分発行